

ロボットの仕様について

質問 01	自立型ロボットは、「てまり」を飛ばすなどして金沢城に投げ入れて置いても良いのでしょうか？（リモコン型は、アイテムの射出は禁止とあったのですが、自立型はどうでしょうか？）
回答 01	構いません。ただし、7 競技上の注意事項の（15）にある通り、リモコン型ロボットがアイテム（山中塗、輪島塗）を上方に射出することは禁止します。

質問 02	金沢城に弁当箱や箸を置くとき、お盆の上におかなければいけないなどの指定はあるのでしょうか？
回答 02	指定はありません。

質問 03	実施規則の制御方法・機構の（4）キ、で「ロボットやロボットの一部の浮上は禁止」とありますが、のと里山海道エリアの10cmの段差をタイヤで走行しながら昇ったり降りたりするとき、タイヤが床から離れ、ロボットが一瞬浮いた状態になりますが、「浮上」とは故意にロボットをジャンプさせる、またはヘリコプターのように故意に浮き上がらせることが禁止であり、ロボットが走行する反動などでロボットの一部が一瞬浮き上がってしまう程度は、問題ないとの判断で良いのでしょうか？
回答 03	質問の通り、故意に浮上することが禁止であり、走行中に反動などで一瞬浮き上がる程度は問題ありません。

質問 04	小松空港エリアの段差を乗り越えるのに、段差にスロープを設置する機構を使いたいのですが、ルールにロボットの分離をしてはいけないとあるのですが、その『分離』の定義を教えてください。また、そのスロープに紐を取り付けロボットにつないでいけば分離にはならないのでしょうか？
回答 04	紐、ワイヤー等は分離として判断します。

質問 05	2-（2）ア、イにそれぞれのロボットのサイズ及び重量の規定が記載されていますが、リモコン型ロボットには「外寸はスタート時の形状を基準とする」と記載されていますが、自立型ロボットの説明には記載されていません。自立型ロボットのスタート後の展開はできないのでしょうか。
回答 05	自立型ロボットのスタート後の展開はできます。

質問 06	2ロボットの規定及び製作規定（5）その他 エ 略～なおタイヤにシリコン剤や滑り止め材を塗布してはならない。～略 とありますが、シリコン製のタイヤの使用は可能でしょうか。。また、マイコンカーラーなどで使用されているシリコンシートの使用は可能でしょうか。
回答 06	可能です。ただし、実施規則 7 競技上の注意事項（25）のとおり次のチームに影響があると審判が判断した場合は失格となります。

質問 07	<p>Q&Aのロボットの仕様についての質問6で、シリコンタイヤが可能というご回答でしたが、今大会では、今までで最大傾斜となる小松空港エリアのスロープがありますので、シリコンタイヤについては、前回大会同様に禁止にさせていただきたいです。シリコン材をタイヤに塗布するのもシリコンタイヤを使用するのも同様であると考えます。また、次のチームに影響があると判断した場合は失格とありますが、シリコンの付着は透明であるので、シリコンタイヤが走行した箇所がツルツルしていないか確認していただき、次のチームに影響のないようしっかり除去もしていただきたく思います。</p>
回答 07	<p>第23回全国高等学校ロボット競技大会三重大会実施規則、Q&Aにシリコン系コーキング剤類の使用を禁止する記載は確認できましたが、シリコンタイヤに関する記載は確認できませんでした。</p> <p>回答 06 では、タイヤの材質の確認が厳密にできないため可能としましたが、審判はコースの状況を厳しく確認します。</p> <p>また、右の写真のようなタイヤは審判が粘着性を確認した場合、市販品であったとしても実施規則 2 ロボットの規格及び製作規定（5）その他 エ の「競技コース・各アイテムに接触する部分への粘着性のある部材の使用は禁止する。」に該当するとして、失格と判断します。同様に疑わしいものは、すべて使用しないでください。</p>



<p>質問 08</p>	<p>競技方法について 質問 07 雪吊りにリモコンが触れてよいか。 回答 07 良いです。 に対する雪吊りの失格範囲についてですが、「リモコンが雪吊りに触れパイプを押した」 後の次の状態は失格かどうか教えてください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1) パイプを押すがもとにもどる 2) パイプを押し戻らない (写真1) 3) パイプを押し戻らない (写真2) 4) パイプを押し又は他の動作で吊っている紐が切れる </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">   <p>写真1 写真2</p> </div> </div>
<p>回答 08</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) パイプを押すがもとにもどる 失格ではない 2) パイプを押し戻らない (写真1) 失格 3) パイプを押し戻らない (写真2) 失格 4) パイプを押し又は他の動作で吊っている紐が切れる 失格です。

<p>質問 09</p>	<p>①” 審判はコースの状況を厳しく確認します” とありますが、具体的にどのように確認するのでしょうか？ 本校コースでは、シリコン製のタイヤを用いていますが、粉などが付着したり、つるつるすべるような部分はありません。</p> <p>②” 審判が粘着性を確認した場合” とありますが、この確認方法も教えてください。 マイコンカーのタイヤ確認シートを用いて、くっつかなければOK なのでしょうか？</p> <p>③” 疑わしいものは全て使用を禁止する” とありますが、シリコンタイヤについて上記2点をクリアしていれば仕様を認めてはいただけないでしょうか？ その場合はシリコン製のタイヤでもよろしいのでしょうか？</p>
<p>回答 09</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①シリコンを確認できるものを使ってコースを点検します。 ②手で触り、粘性をチェックします。 ③認めます。